

公開しなければならない臨床研究

*利用する情報に合わせてどちらかにチェックをつけてください。

■ 【個人を特定できる場合】

- ・情報を収集する時点で個人が特定できている場合
- ・対応表を自施設または提供元施設で保管している場合

注意) オプトアウトを行う研究(情報の利用拒否機会を設けている研究)は全てこちらに該当します。

□ 【個人を特定できない場合】

- ・データベース、レジストリから条件を選択して抽出した情報を使用する場合

注意) 使用するデータの管理状況、取り扱い規程等により異なるため詳細は当該情報を管理している事務局、管理者等へ確認すること。

研究課題名	新型コロナウイルスとインフルエンザ等の呼吸器ウイルスの共感染の研究
所属(診療科等)	日本赤十字社長崎原爆諫早病院 (呼吸器科)
研究責任者	福島喜代康
研究機関	本研究は日本赤十字社長崎原爆諫早病院で行われます。
研究期間	日本赤十字社長崎原爆諫早病院の病院長許可日~2025年7月31日
研究目的と意義	通常診療にて採取された新型コロナウイルス感染(COVID-19)疑いの患者の新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)検出に用いた残余検体(鼻咽頭ぬぐい液、唾液など)を用い、季節性のインフルエンザウイルスA、インフルエンザB、RSウイルスなどの呼吸器系ウイルスの遺伝子増幅検査(PCR検査)を行います。SARS-CoV-2、インフルエンザウイルスA、インフルエンザウイルスB、RSウイルスなどの呼吸器系ウイルス感染の早期診断が可能となる。またSARS-CoV-2、インフルエンザウイルスA、インフルエンザウイルスB、RSウイルスなどの呼吸器系ウイルス感染の流行の疫学状況を迅速に評価することにより、ウイルス感染症の臨床診断に有用な情報となる。
研究内容	<p>●対象となる患者さん</p> <p>1) COVID-19疑いでSARS-CoV-2検出のために検体(鼻咽頭ぬぐい液、唾液など)を採取された患者さん</p> <p>2) 入院・外来、性別および年齢は不問</p>

	<p>●利用する情報／試料</p> <p>情報： 性別、年齢、基礎疾患などの情報や、症状や経過、画像所見、治療など。</p> <p>試料： 通常診療にて採取された COVID-19 疑い患者の SARS-CoV-2 検出に用いた残余検体（鼻咽頭ぬぐい液、唾液など）</p> <p>本研究で利用する情報について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「問い合わせ」までご連絡ください。</p> <p>●研究の概要・方法</p> <p>通常診療にて採取された本 COVID-19 疑い患者の残余検体（鼻咽頭ぬぐい液、唾液など）を用い、季節性のインフルエンザウイルス A、インフルエンザウイルス B、RS ウイルスなどの呼吸器系ウイルスの遺伝子増幅検査(PCR 検査)) を行い、SARS-CoV-2、インフルエンザウイルス A、インフルエンザウイルス B、RS ウイルスなどの呼吸器系ウイルス感染の早期診断およびウイルス流行の疫学状況を迅速に評価し、ウイルス感染症の臨床診断に有用な情報となる。</p>
問い合わせ先	<p>【研究担当者】</p> <p>氏名：福島喜代康 日本赤十字社長崎原爆諫早病院 呼吸器科 住所：長崎県諫早市多良見町化屋 986-2 電話：0957（43）2111</p> <p>【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）</p> <p>苦情相談窓口：総務課 0957（43）2111 受付時間：月～金 9:00～17:00（祝・祭日を除く）</p>